

リカレント教育の ススメ

三重県内の高等教育機関が連携し、地域と緊密に接点を持ちながら、リカレント教育の推進を行うことで、継続的な人材作りに取り組んでいます。

リカレント教育はPoint01～03を内包しています。

リカレント教育

リカレント教育とは、社会人になった後も、必要なタイミングで教育機関や社会人向け講座で再び教育を受け、能力やスキルを身につけるために学び直すことを指します。

01 Re-Skilling リスキリング

新しい職に就くため、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に対応するため必要なスキルを獲得する/させること

02 Up-Skilling アップスキリング

新たな専門知識を身につけ、すでに持つ能力をレベルアップさせる

03

職業とは直接的には結びつかない技術や教養等を身につけること。

リカレント Recurrent

「繰り返す」「循環する」という意味



三重大学



リカレント教育センター TEL:059-231-9226
HP:<https://recurrent.mie-u.ac.jp/>
(Web シラバス)
<https://unipa.mie-u.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml>
(全学シーズ集)
<https://seeds.mie-u.ac.jp/>

三重県立看護大学



地域交流センター
<https://www.mcn.ac.jp/community/communitycenter/>
大学院：<https://www.mcn.ac.jp/graduate/>

四日市大学



地域とのつながり
<https://www.yokkaichi-u.ac.jp/extention/>

四日市看護医療大学



TEL:059-340-0700
HP:<https://www.y-nm.ac.jp/>

鈴鹿医療科学大学



オープンカレッジ事務局 TEL:059-383-8991
(Web シラバス)
<https://asm-ediea.com/suzuka-u/open/ja/syllabuses>
(シーズ集)<https://www.suzuka-u.ac.jp/seeds/>
(一般社団法人日本薬膳学会)<https://www.jsmd2013.jp/>
(一般社団法人日本食品安全協会)<https://www.jafsra.or.jp/>

鈴鹿大学



TEL:059-372-2121(代表)
公開講座・授業公開
<https://www.suzuka.ac.jp/cooperation/open/>
入試関連情報<特別選抜>
<https://admissions.suzuka.ac.jp/selection-special/>
一般の方へ:https://www.suzuka.ac.jp/for_general/

皇學館大学



企画部地域連携推進室 TEL:0596-22-8635
大学概要 生涯学習・公開講座・公開授業のページ
HP:<https://www.kogakkan-u.ac.jp/about/lecture.php>

津市立三重短期大学



TEL:059-232-2341
HP:<https://www.tsu-cc.ac.jp/>
講座開講情報(講座表&シラバス)
<https://www.tsu-cc.ac.jp/campus/lessoninfo-2/>

高田短期大学



TEL:059-232-2310
コミュニティカレッジ
<https://www.takada-jc.ac.jp/activity/kouza/>

ユマニテク短期大学



HP:<https://www.jc-humanitec.ac.jp>

鈴鹿工業高等専門学校



総務課総務企画係 TEL:059-368-1717
HP:<https://www.suzuka-ct.ac.jp/>

鳥羽商船高等専門学校



総務課企画・地域連携係 TEL:0599-25-8402
E-mail:soumu-kikaku@toba-cmt.ac.jp
(シラバス)<https://www.toba-cmt.ac.jp/gakka/syllabus/>
(研究・教育シーズ集)<https://www.toba-cmt.ac.jp/sangaku/seeds/>
(公開講座)<https://www.toba-cmt.ac.jp/sangaku/koukai/>
(出前授業)<https://www.toba-cmt.ac.jp/sangaku/demae/>

近畿大学工業高等専門学校



地域連携テクノセンター
TEL:0595-41-0111(代表)
HP:<https://www.ktc.ac.jp/research/>

お問い合わせ先



リカレント教育プラットフォームみえ事務局
(三重大学学務部教務チーム)

TEL:059-231-9902
E-mail:conso-mie@ab.mie-u.ac.jp

リカレント教育プラットフォームみえとは

三重県内の高等教育機関を正会員として高等教育の充実・発展を図る「高等教育コンソーシアムみえ」を核とし、産学官金の関連機関によって構成されています。令和5年の設立後、リカレント教育の啓発活動、ニーズ調査、リカレント教育プログラムの開発・提供等を通して県内にリカレント教育を普及推進してきました。令和7年からは言論界・労働界からも構成員として参画し、リカレント教育をより一層展開していきます。

経営者および地域のニーズに合致した教育プログラムの開発・実施

受講前後アンケートによる教育効果の測定とフィードバックによる継続的な改善

修了生へのヒアリング等による社会への影響・波及状況の調査の実施

有効性の確認された既存の取組に基づく教育プログラムの創出

アピールポイント

自走化に向けた取組

達成目標

企業等の要望を丁寧に聴き取り構築するオーダーメイド型リカレント教育のスキーム

成果の確認、情報交換、調整を図り、持続可能な運営体制を構築します。

高等教育機関として中小企業経営者の要望に沿った学習の機会を創出することによる、三重地域圏におけるリカレント教育の推進・地域課題解決・地方創生へつなげます。

DX人材育成プログラム等におけるグループワークによる教育手法

プログラムの実施主体を教育機関だけでなく他のプラットフォーム参画機関等にも移行したり、自治体との連携で実施するとともに、プラットフォームへの会費などから運営経費に還元する方策を検討します。

県内中小企業・県内市町との連携実績

多角的な評価によるリカレント教育プログラムの改善とフォローアップ体制

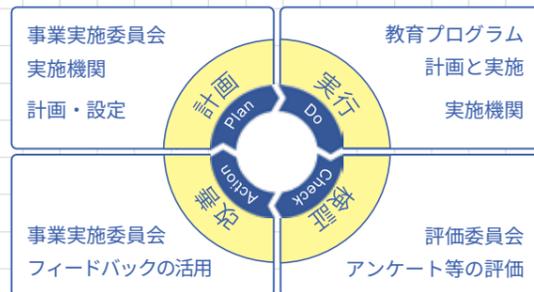
受講前後アンケートによる教育効果の測定とフィードバックによる継続的な改善

経営課題を多角的に認識する能力（創造性・感性・デザイン思考・生成AI・DXなど）

セミナー・シンポジウムの開催による異業種交流の創出

リカレント教育プログラム受講生への受講前後のアンケートや、プラットフォームの構成員・過去のプログラムに受講生を派遣した企業等へのニーズ聞き取り、評価委員会・事業実施委員会にフィードバックしてプログラムを改良していくとともに、修了生へのコンタクトを定期的実施します。

一定期間経過後のフォローアップ調査やコーディネーターによるヒアリングを実施し、行動変容などの社会的インパクトとしての”学修効果”の測定に発展させます。なお、受講前・受講後アンケートと同様に、これまでの実績を参考として、よりプログラムに適した内容として実施します。



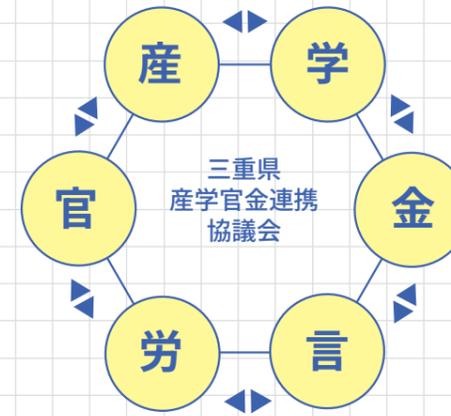
事業実施委員会とは

リカレント教育プログラム開発等のため、「リカレント教育プラットフォームみえ」の中に事業実施委員会を設置し、プログラム内容の検討や受講生へ与える効果、経済的波及効果等について協議を行い、産学官金連携協議会へ提言します。

評価委員会とは

「リカレント教育プラットフォームみえ」が展開する教育プログラムについて産学官の視点から評価を行い、教育プログラムの実施機関に対し改善提案を行うとともに、評価結果を事業実施委員会にフィードバックし、教育プログラムの質を継続的に向上させる仕組みを有しています。

リカレント教育プラットフォームみえの体制



三重県内の産・学・官・金・労・言の各機関が連携し、地域と緊密に接点を持ちながら、リカレント教育の推進を行うことで、継続的な人材作りに取り組んでいます。

産

三重県経営者協会、三重県商工会議所連合会、三重県商工会連合会、三重県中央企業団体中央会、三重県産業支援センター

学

三重大学、四日市大学、皇學館大学、鈴鹿大学、鈴鹿医療科学大学、三重県立看護大学、四日市看護医療大学、津市立三重短期大学、高田短期大学、ユマニテク短期大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校

官

三重県、三重労働局、三重県市長会、三重県町村会、中部経済産業局

金

日本政策金融公庫津支店、株式会社商工組合中央金庫津支店、三重県銀行協会、三重県信用金庫協会（参画予定）

労

日本労働組合総連合三重県連合会

言

日本放送協会津支局

リカレント教育プラットフォームみえの活動

セミナー・シンポジウムの開催

年3～4回三重県下各地域で県内企業のトップ、経済界、各大学から講演者を招き開催。講演終了後には参加者交流会を開催し、活発な情報交換がなされています。

伊勢常若経営支援講座

各専門分野のスペシャリストや、大学生とディスカッションを重ねる中で、自社の魅力をいかに発信するかを考えます。



認知症対応力向上講座

企業の社員を対象に、認知症の人へのサービスに対する企業の対策や取組、進め方について考えます。受講後、修了証とバッジを発行。

初動救護員養成講座

鳥羽市内の旅館にて、日々の業務の中で緊急時に対応できるように救急手当の技術を習得します。

経営革新リカレント講座

中小企業の経営者、後継者（候補）を対象。全6回講座。